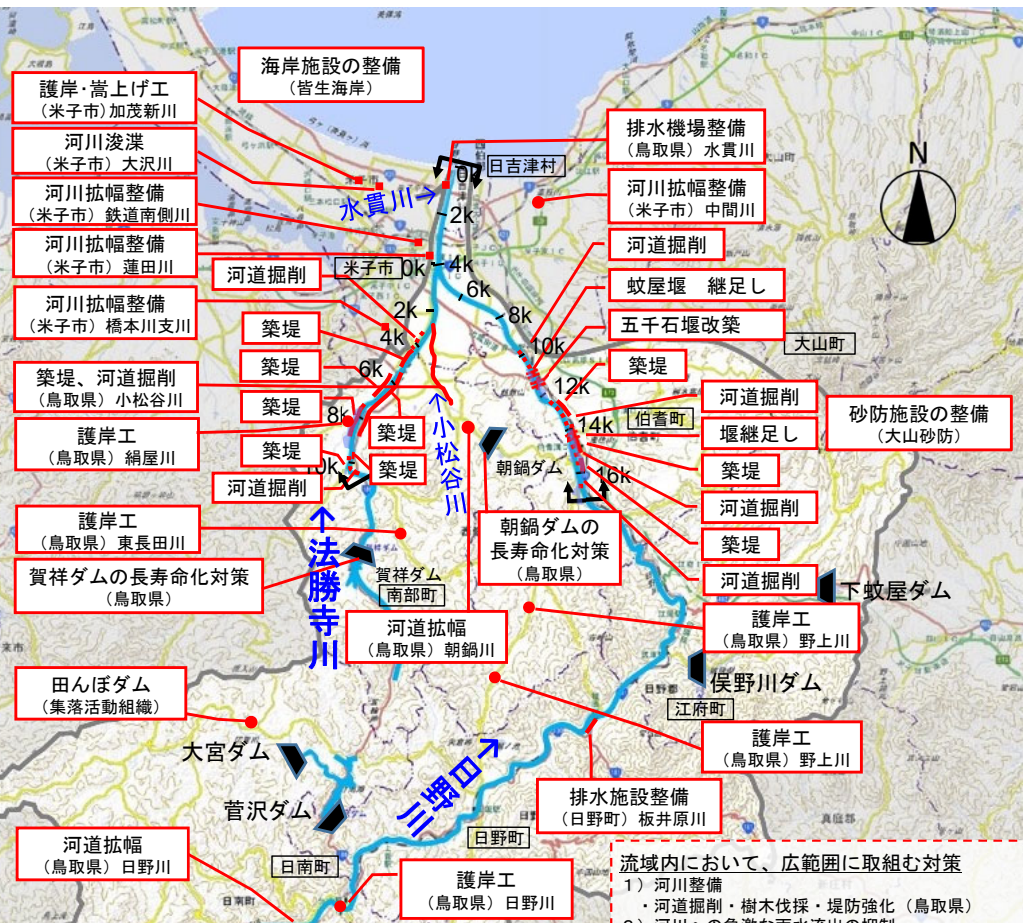


# 日野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ひと・ものが行き交い、暮らし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、日野川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 日野川は、一度氾濫が起これば、下流低平地に広範囲に浸水被害が広がりかつ長期化する特性を有しており、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進める。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国直轄区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和20年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

## 【位置図】



**■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**  
**対策内容**

- ・築堤、河道拡幅、河道掘削、堰改築、樹木伐開 等
- ・排水機場整備、排水施設整備 等
- ・利水ダム等を含む6ダムにおいて、事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、鳥取県、中国電力（株）等）
- ・間伐等の森林整備 等
- ・治山・砂防施設の整備・長寿命化対策 等
- ・ダムの長寿命化対策
- ・田んぼダムによる流出抑制対策

**■ 被害対象を減少させるための対策**

- ・土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援
- ・水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定及び居住誘導

**■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・マイタイムラインの作成
- ・水位計・監視カメラの設置
- ・要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供

**【凡例】**

- 浸水想定範囲（戦後最大規模の洪水と同等の洪水）
- 国直轄区間
- 堤防の築堤等
- 樹木伐開・河道掘削等
- 堰改築等

河川改修(日野川)



土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え支援 構造強化事例



左:危機管理型水位計 右:河川監視カメラ



- 流域内において、広範囲に取り組む対策
- 1) 河川整備
    - ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化（鳥取県）
  - 2) 河川への急激な雨水流出の抑制
    - ・農地の保全（多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織）
    - ・間伐等の森林整備（鳥取森林管理署・鳥取県、森林整備センター）
  - 3) 河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減・防止
    - ・治山・砂防施設整備・長寿命化対策（鳥取県）

**■ グリーンインフラの取り組み** 詳細次ページ